

## 徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻博士後期課程の設置（予定）の報告

徳島大学では平成19年6月29日付けで「徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻博士後期課程」の設置計画を文部科学省に提出しておりましたが、大学設置・学校法人審議会において審議された結果、設置を可とする回答がなされ、平成19年9月25日に通知されました。「徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻博士後期課程」を平成20年4月に設置する予定となりましたのでご報告いたします。なお「徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻博士後期課程」の概要は下記の通りです。

### 記

#### 「徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻博士後期課程」の概要

名 称：徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻博士後期課程

入学定員：5名

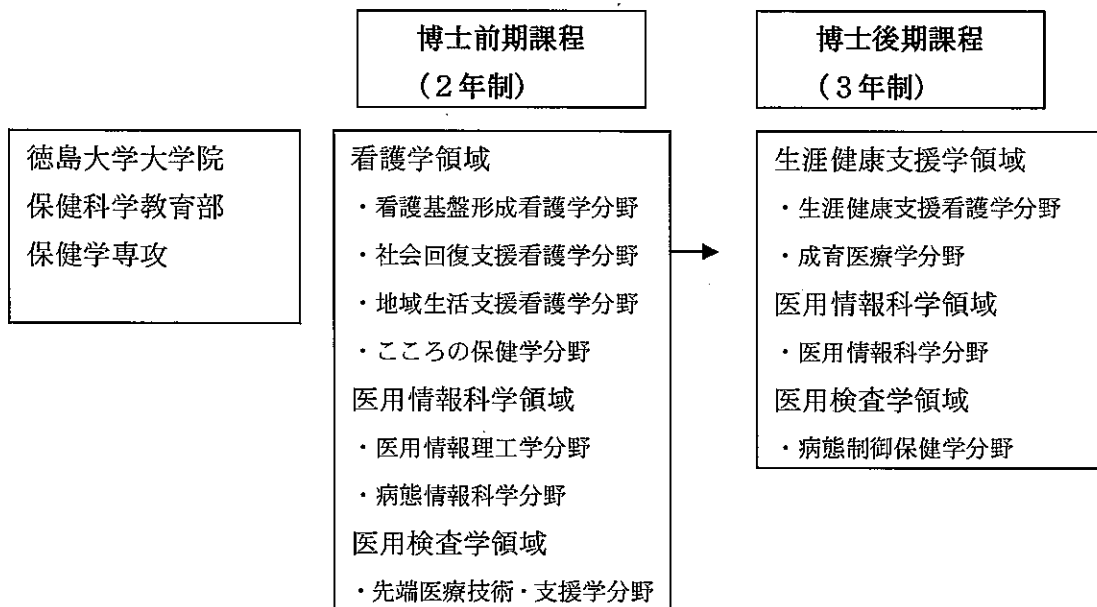
#### 専攻の目的：

1 本課程は、今日必要とされる医療に対し、保健学の視点から臨床応用を志向した学問を展開し、実地臨床に役立つ新しい知識の構築と臨床応用を通して、国民の健康増進と疾病の予防、医療、回復支援及び生活支援に資することを目的とする。

2 本課程は、(7) 高度先進医療及び国民の健康や医療に対する様々なニーズに対応するため、臨床応用を志向し、かつ健康増進と疾病の予防、医療、回復支援及び生活支援に資する学問を推進、発展させることができる教育者・研究者、(i) 従来の学問の枠組みでは対応しきれない新しい医療に果敢に取り組み、保健学の視点から新しい学問を構築できる教育者・研究者の育成を目指す。

#### 組織の構成：

徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻博士後期課程は「生涯健康支援看護学領域」、  
「医用情報科学領域」及び「医用検査学領域」の3領域からなる。生涯健康支援看護学領域に「生涯健康支援看護学分野」及び「成育医療学分野」の2分野、医用情報科学領域に「医用情報科学分野」、医用検査学領域に「病態制御保健学分野」のそれぞれ1分野の計4分野を設ける。なお既設の修士課程は博士前期課程と改称する。



#### 教育・研究の内容：

1 「生涯健康支援看護学分野」では、健康の維持・増進、疾病の予防やQOLを高めるための支援に資するための先端的教育研究、及び「成育医療学分野」では生殖細胞の発生から受精、ヒトとして成長する過程で生じる疾患を取り扱う医療を発展させ、健全な次世代を育むために必要な技術開発やクライアント及び家族を支援するための先端的教育研究を推進する。

2 「医用情報科学分野」では、各種生体情報の収集・解析・表現方法を統合的に探求し、医用基盤技術開発と臨床応用の観点から先端的教育研究を推進する。

3 「病態制御保健学分野」では、遺伝子からタンパク発現に関わる高分子情報の一般医療への応用に対する高い社会的要請や、心拍変動などの生体情報の解析を通じた虚血性心疾患の予防に応える先端的教育研究を推進する。

#### 育成する人材：

本課程は、保健・医療分野の高度な研究を推進できる人材の養成を目指している。

- 1 生涯健康支援学領域では、(7) 生涯にわたる健康支援に資する、科学的で実地に即した学問を確立する教育研究者、(i) 少子化や虐待などの社会問題に対応し、成育医療という新しい医療を保健学の視点から学問として発展させる教育研究者を育成する。
  - (1) 大学・教育機関において自立した研究を展開する看護学の教育研究者
  - (2) 医療現場において自立した研究を展開する看護学の教育研究・指導者
  - (3) 保健・福祉施設等で親子保健の分野で活躍する指導者
  - (4) 生殖補助医療の現場における生殖補助医療管理胚培養士及び教育研究者
- 2 医用情報科学領域では、多様な生体情報から必要な情報を効率良く抽出・解析・表現する方法や、病態に対応した高効率の検査の開発とそれを担う教育研究者を育成

する。

- (1) 大学・研究機関における医用画像工学分野の教育研究者
  - (2) 企業・研究所において画像診断技術及び機械の開発ができる研究者
  - (3) 医療現場において自立した研究を展開する診療放射線技術学分野の教育研究者
- 3 医用検査学領域では、一般の医療現場で用いることができる、細胞や病原菌などの遺伝子・タンパク質等の情報高分子を利用した検査技術を開発する教育研究者を育成する。
- (1) 大学・研究機関における医用検査学分野の教育研究者
  - (2) 医療現場において自立した研究を展開する医用検査学分野の教育研究者